

草の根技術協力事業

「フードバレーとかち」のノウハウをタイ・マレーシアへ
地元企業の海外展開やハラール対応による市場開拓を推進

事業概要

参加者： 帯広商工会議所・帯広市・帯広畜産大学
とかち財団・十勝地区農業協同組合
十勝農業機械協議会

相手国： タイ (チェンマイ商工会議所・タイ工業連盟)
マレーシア (中小企業振興公社・ケダ州開発公社)

協力内容：

- ・現地からの研修員受入れ、十勝からの専門家派遣により、両国の食品、流通関係者に対し、食の付加価値化・安心安全の向上による地域振興のノウハウを指導。
- ・十勝地方の行政機関や企業に対して、ハラールに関するセミナーを開催しハラール対応を促進。(十勝でのハラール対応を促進する「ムスリムフレンドリーとかちキャンペーン」を実施)

十勝の背景、取り組み



- 十勝地方は食料生産に適した自然環境で食料自給率1100%を誇る。
- 生産・加工・販売などが連携した十勝型フードシステムの形成。
- 「食」の国際戦略総合特区に認定される。

タイ・マレーシアの課題と成果

課題	地域ブランド力が弱い 安心安全な食品への取り組みが不十分
取り組み	食の安心安全・付加価値化の技術の習得と普及生産・加工・販売などが連携した十勝型フードシステムによる地域特性を活かした商品の開発と地域ブランドの推進
成果	十勝のノウハウ・技術を活用した付加価値商品の開発、地域ブランドの強化

十勝・帯広への波及効果

！十勝企業の海外展開とハラール対応推進

- ・十勝の企業が海外に進出する為には「十勝」という地域ブランドの認知が重要であり、今回の事業は東南アジアでの十勝のブランド定着に貢献。この案件を通じ、多くの地元企業が海外に目を向け、現地への進出が促進されている。
- ・今後ハラール対応は日本でもニーズが高まる分野であり、十勝の行政機関や食品・流通業界関係者は事業を通して広くハラールについて学び、いち早くハラールへの対応の機会を得ることができた。